宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和７年　３月 26 日

宮崎市長　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地　宮崎市下北方町下郷６１０１
名　　称　大宮地域まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名　会長　池田　　清治
電　話　番　号　３１－３４３３

令和６年４月１日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第１８条第１項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

（イ）　事業実施報告書･収支決算（見込）書

（ロ）　事業別収支計算書

（ハ）　積立金管理状況報告書
　　積立金がないため、省略

（ニ）　その他
　　宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届書
　　令和６年度交付金会計監査結果
　　地域協議会意見書［事業実施報告］

令和 6年度 事業実施報告・収支決算（見込）書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

1 総括

地域まちづくり推進委員会の各部会では、地域魅力発信プランで策定しました『地域の歴史や文化と豊かな自然を大切にする元気でやさしいまち「大宮」』を実現することを目標に、事業計画を作成し、実行しております。

23の事業を計画し、天候不良により大運動会を中止しましたが、その他の事業はほぼ予定の通り実施することができました。推進委員の皆様のご尽力に感謝いたします。

2 収支決算

令和6年度 地域コミュニティ活動交付金 収支決算（見込）書

大宮地域まちづくり推進委員会

（1）収入の部　単位:円

項　目	予算	決算（見込み）	差額	備考
基礎交付金	4,673,000	4,673,000	0	
令和5年度繰越金	689,266	689,266	0	
雑収入	34	2,033	1,999	銀行利息 8月 269円 2月 1,344円 フィルム代戻入 420円
負担金	255,000	285,700	30,700	リーダー研修276,000 GG大会 9,700
合　計	5,617,300	5,649,999	32,699	

（2）支出の部　単位:円

	分野	事　業　名	実施年数	予算	決算（見込み）	差額	備考
1	防	総合防災推進事業	1年目	677,300	88,929	▲ 588,371	
2	防	安全・安心の防犯パトロール事業	15年目	560,000	500,000	▲ 60,000	
3	福	福祉講習会事業	16年目	60,000	57,234	▲ 2,766	
4	福	安心カード推進事業	15年目	50,000	43,642	▲ 6,358	
5	福	「ふれあい茶話会」支援事業	13年目	90,000	95,000	5,000	
6	環	新別府川クリーンアップ事業	16年目	250,000	241,097	▲ 8,903	
7	環	親子でできる環境学習事業	8年目	40,000	35,074	▲ 4,926	
8	健	大宮地区ウォーキング゛大会実施事業	4年目	150,000	67,388	▲ 82,612	
9	健	大宮地区夏休みのラジオ体操参加事業	10年目	60,000	49,759	▲ 10,241	
10	健	大宮地区大運動会実施事業	2年目	330,000	125,989	▲ 204,011	雨天中止
11	健	宮崎市地区対抗駅伝大会参加事業	15年目	120,000	83,006	▲ 36,994	
12	健	大宮地区グラウンドゴルフ大会実施事業	15年目	70,000	65,074	▲ 4,926	（参加者負担金減 5,300円）
13	伝	地域の歴史を継承する事業	5年目	60,000	35,142	▲ 24,858	
14	伝	伝統芸能保存への支援事業	2年目	60,000	60,000	0	
15	伝	遺跡の解説看板設置事業	12年目	165,000	143,000	▲ 22,000	
16	教	学校ボランティアへの支援事業	15年目	70,000	61,410	▲ 8,590	
17	教	あいさつ運動推進事業	13年目	60,000	59,400	▲ 600	
18	教	「はたちの成人」に対するまちづくり啓発事業	3年目	380,000	310,440	▲ 69,560	
19	教	時間を守る運動の推進事業	10年目	100,000	71,279	▲ 28,721	
20	教	学校と地域のリーダー育成事業	8年目	15,000	12,070	▲ 2,930	
21	他	まちづくり活動の広報事業	5年目	650,000	495,864	▲ 154,136	（事務局編集）
22	他	リーダー育成事業	14年目	850,000	871,938	21,938	負担金増 36,000円
23	他	まちづくり事務局支援事業	8年目	750,000	748,858	▲ 1,142	
	合　計			5,617,300	4,321,593	▲ 1,295,707	
	次年度繰越金				1,328,406		

３　実績報告

［1］防犯・防災に係る事業

事 業 名	総合防災推進事業	実施年数	1年目
事業期間	開始：令和6年度	終了：　　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 人の輪でつながる安全なまち大宮 （防災意識が高く、災害に強いまち） 地域住民同士が常に防災意識を持ち、とっさの時の災害に対応できるまちづくりに努めます。 【努力目標】・地域住民一体となっての防災活動（防災訓練等の実施）への取り組み・全地区での自主防災組織の結成		
目　的 （期待される効果）	・災害発生に備えて、地域全住民の生命財産を守るため防災活動を展開する。 ・防災訓練を行い、地域防災のリーダー育成をはかる。		
事業内容・手段	・自主防災倉庫内の点検、備品と分散備蓄の拡充 非常食（17,000 食）の分散備蓄の実施 自治会防災倉庫に配備してある発電機の動作確認と保管・管理の講習 ・自治会単位での防災訓練を支援する。 神宮東、神宮西、池内小区、神宮北の各自治会で実施の防災訓練を支援 地域の防災士と連携した防災活動の推進 ・防災かまどベンチ活用の促進 公民館講座での防災かまどベンチの活用体験 ・ビニールハウス避難生活の体験 ・人吉の水害際のボランティアセンターついて現地での研修に参加した。		
事 業 費	88,929 円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和6年度	令和5年度
参加者	約 250 名	約 240 名
スタッフ	28名	約28名
合 計	約 280 名	約 270 名

住民の声（アンケートの結果等）	・日向灘で発生した2度の地震があり、さらに強い地震になるとどうすればよいか不安である。 ・災害時には「自助」と「住民間の共助」をどのよう行うかがキーになる。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・アンケートや自治会の代表から地域のニーズを聞きながら事業を行っている。
	②住民の参加	A	B	・震度５レベルの日向灘地震が連続しており地震対策の必要性を身近に感じている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「人の輪でつながる安全なまち大宮」（防災意識が高く、災害に強いまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・地域の消防団や防災士、地区社協、自治会との連携を図り実施している。
広報	⑤事業の周知	A	A	・訓練のチラシ配布し参加を促した。 ・活動の様子をホームページやコミュニティ大宮だより「絆」にて広報した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・避難所の環境整備や備蓄品の拡充は必ず役に立つ事業である。 ・防災士と連携した活動を推進する。
	⑦住民の満足度	B	B	・災害が発生した時どのような被害予想ができず不安に感じている。 ・避難訓練や防災会議のできなかった地区がある。
事業継続の必要性				有 ・ 無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・いくつかの自治会では、防災訓練講習会を行い、災害に備えている。 地域の自治会と連携して防災に対する備えを進める。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>安全・安心の防犯パトロール事業</td><td>実施年数</td><td>15 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成22年度</td><td colspan="2">終了：　年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
人の輪でつながる安全なまち大宮
（防犯意識が高く、生活の安全が守られているまち）
防犯灯の整備、地域安全パトロール隊の組織など、地域ぐるみで防犯や交通安全に取り組み、安心して暮らせるまちを目指します。
【努力目標】・防犯灯の整備・安全パトロール隊の組織の結成・交通安全の遵守・標識等の充実</td></tr>
<tr><td>目　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・大宮地域内の安全・安心のパトロール隊や見守り隊の活動を推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・継続した地域安全パトロール活動を実施するとともに、パトロール隊の備品（ジャンパー、帽子）を追加配布し「地域の安全を守る」活動を支援する。

・青少年育成協議会が開催する夏と冬の夜間パトロールに参加し、危険個所やたまり場での指導に参加した。

・通学通路の路面標示が消えかかっており、補修工事を行った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">500,000 円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民、地域のパトロール隊</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>パトロール隊員</td><td>約 120 名</td><td>130名</td></tr><tr><td>パトロール隊</td><td>7 隊</td><td>8隊</td></tr></table>※　上記以外にも民生委員・児童委員の方も継続して活動されています</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・地域見守り活動のおかげで、子どもたちが安全に通学できている。
・大宮小区に交通指導員がいないのは残念である。
・配布した冬用帽子は「暖かい」と好評です。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・通学路の車が多く児童の安全確保が必要である。
	②住民の参加	A	A	・自治会単位でパトロール隊を結成しパトロールや見守りを行っている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「人の輪でつながる安全なまち大宮」（防犯意識が高く、生活の安全が守られているまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・地域の自治会青少年育成協議会と部会員が協議しながらパトロールしている。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」やHPで地域見守り隊の活動を紹介した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・学校や保護者が対応できない下校時の児童見守りを地域のパトロール隊が担っている。
	⑦住民の満足度	A	A	・児童の見守り活動は、保護者から高く評価されている。 ・夜間のパトロールで防犯灯の維持もされている。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・青少年育成協議会や学校、地域が協力し夜間の一斉指導を行っている。 ・警察が不定期だが朝のスクールゾーンの取り締まりを行い効果が上がっている。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

［2］地域福祉に係る事業

事 業 名	福祉講習会事業	実施年数	16 年目
事業期間	開始：平成21年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮 （ともに支え合い、見守り合うまち） 【努力目標】・高齢者への見守り活動の徹底・障がい者や高齢者等にやさしいまちとしての意識高揚と体制整備		
目　的 （期待される効果）	・地域住民がともに助け合い、思いやりのあるまちづくりを推進する為の一環として、地域住民の福祉課題解決に役立つ福祉講習会を開催する。		
事業内容・手段	・開催日：令和６年10月５日（土）実施 ・会場：大宮地区交流センター　多目的ホール ・内容：　①講演「smart な食事されていますか？」 （講師）渕　慶子氏（平和台病院　管理栄養士） ②運動「フレイル予防運動」 （運動）海野　陽子氏（平和台病院　看護師　健康運動指導士） ③演奏　大宮中吹奏楽部		
事 業 費	57,234 円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）			

年　度	令和６年度	令和５年度
一般参加者	102 名	98 名
スタッフ	39 名	50 名
合　計	141 名	148 名

住民の声（アンケートの結果等）	・毎日の食事で塩、砂糖、栄養素のバランスの大切さに気を付けたいと思いました。 ・「下北音頭」を初めて知った。先生の話術に合わせて楽しく運動できた。 ・「運動でパソコンから音が出ず、放送関係の事前準備不足。」との声があった。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域ぐるみでともに支え合い、見守り合うまちを作りたいとのニーズがある。
	②住民の参加	A	A	・一般参加者は前年を上回る102名の参加があった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮（ともに支え合い、見守り合うまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・民生委員・児童委員、老人クラブ、福祉協力員、各自治会、学校 PTA
広報	⑤事業の周知	A	A	・自治会及び学校PTAへの広報（チラシ）を行った。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・高齢化が進む中、高齢者の健康維持のため、大いに役に立つ活動である。
	⑦住民の満足度	A	A	・運動に合わせる音楽がパソコンの調子が悪く音が出なくなり、準備不足とのご意見があったが、内容については概ね好評であった。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・地域の祭り音頭をアレンジした運動は、住民の中にも初めて知ったという方もいて地域に根差した活動という点でも良かった。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>安心カード推進事業</td><td>実施年数</td><td>15 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始:平成22年度</td><td colspan="2">終了:　年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮
（ともに支え合い、見守り合うまち）
【努力目標】・高齢化に関する情報把握と共有化・高齢者の生活や生きがいの把握
・買い物や地域交流等生活支援の充実</td></tr>
<tr><td>目　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・高齢化社会の進行に伴い、一人暮らしや老々介護の高齢者世帯が増加しており、安心して暮らせるまちづくりを推進する為に、緊急時の対応を速やかに行えるようにする。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">（広報や配布）
・自治会の全世帯（6,519 世帯）にチラシを配布し広報した。
・民生委員・児童委員の方々には日々の家庭訪問時にカードの広報をお願いした。
・住所、氏名、かかりつけ医、緊急時の連絡先等を記入できる「安心カード」及び「携帯用安心カード」を一人暮らしの高齢者や希望される方に配布した。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">43,642円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年 度</td><td>令和4年度</td><td>令和3年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スタッフ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・「安心カードを常備することでもしもの時の対応ができ、安心できる」との声が多い。
・包括支援センターに中央西地域住民からも安心カードが欲しいとの問い合わせの報告がある。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・一人暮らしや老々介護の世帯が増加し、緊急時の不安感がある。
	②住民の参加	A	A	・チラシの自治会回覧等で、多くの住民が利用している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮」を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・地区社会福祉協議会と連携し、自治会、民生委員、その他の協力を得た。
広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシや大宮情報誌の配布、ホームページへの掲載、民生委員が訪問時に内容を説明し広報。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・多くの「安心カード」が配布でき、「安全・安心なまちづくり」が推進できた。
	⑦住民の満足度	A	A	・もしもの時の為に役立つカードであり、賛同者は多い。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・消防署救急隊、地区民生委員児童委員協議会の意見も参考に改訂を行った。 ・宮崎北警察署生活安全課、江平交番、花ヶ島交番、平和が丘駐在所にも作成と配布している旨を伝え、不測の事態に確認していただくように要請した。 ・広報チラシは自治会回覧の都度問い合わせや申し込みがあり、効果があった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	「ふれあい茶話会」支援事業	実施年数	13 年目
事業期間	開始：平成24年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮 （高齢者のネットワークを推進するまち） 高齢者が安心して自立した生活、生きがいのある生活を送れるよう情報を共有し、民生児童委員や福祉協力員、その他いろいろな組織が連携して、高齢化に伴う課題に取り組みます。 【努力目標】・高齢化に関する情報把握と共有化・高齢者の生活や生きがい等に関するニーズ把握・買い物や地域交流、生きがいづくり等、支援の充実		
目　的 （期待される効果）	・閉じこもり孤立しがちな高齢者が気軽に集まり、仲間づくりを進めるための茶話会の創設と継続的な支援をする。		
事業内容・手段	・「ふれあい茶話会」の新規募集 １グループの募集予定を行い、1グループの応募があった。 ・継続的な支援 全 16 サロンのうち、休会中のサロンを除く 15 サロンに各 5,000 円の活動支援金を支給した。 ・ふれあい茶話会情報交換会 １ 月 31 日（金）の情報交換会では、冒頭に脳トレのデモゲームを実施し、地区社協保有のゲーム用具を紹介。 出席された 14 サロンの代表者による熱心な意見交換が行われた。		
事 業 費	95,000円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和6年度	令和5年度	
一般参加者	222 名	217 名	
スタッフ	71 名	69 名	
合 計	293 名	286 名	

住民の声 （アンケートの結果等）	・「今年の情報交換会は内容が充実していて、参加したかいがあった。」との声があった。

地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・高齢者が気軽におしゃべり等できる場を求めている。
	②住民の参加	A	A	・自治会に協力を求める。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮（高齢者のネットワークを推進するまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・地区社協、市社協、各自治会等
広報	⑤事業の周知	A	A	・各茶話会グループが開催のチラシを配布している。 ・広報誌「絆」や HP で大宮地域の活動を紹介した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・情報交換会により、情報の共有化と共通認識をもつことができる。
	⑦住民の満足度	A	A	・一度参加された方はほとんどの人が継続して活動されている。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・ふれあい茶話会情報交換会の事前準備として、活動報告書やアンケートを募ったところ、サロン継続上の悩みや、必要とされる支援などについて、忌憚のない意見が多く寄せられ、今後の運営の参考になった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

［3］環境に係る事業

事 業 名	新別府川クリーンアップ事業	実施年数	16年目
事業期間	開始：平成21年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 　豊かな自然と生活環境を守り育てるまち大宮 　（環境美化への取り組みが充実しているまち） 　大宮の河川環境を良好に保ち、ゴミ減量化・リサイクル推進を進めるまちにします。 【努力目標】・新別府川の一斉清掃等環境美化活動を通じた三世代交流の支援		
目　的 （期待される効果）	・大宮地区を流れる「新別府川（一級河川）」の草刈り、ゴミ・不法投棄物の撤去を行い、小魚や水辺の生き物が棲めるようなせせらぎにし、地域住民が散歩したくなるような護岸にする。		
事業内容・手段	・新別府川の草刈りを年2回実施しました。 １回目の草刈りは「水辺学習」ができそうな場所を設定し、その近辺を重点的に刈り ２回目は、新別府川沿いの農道の草刈りを実施しました。 ・募集は、チラシの配布・部会員からの声掛け・HP への掲載を行いました。 ・地域の地縁団体や一般・きずなプロジェクトの参加を募り、大宮中学校の男子生徒さんには、沿道の草払い、女子生徒さんには沿道のゴミ拾いをしてもらいました。若い中学生のボランティアはとても戦力になりました。		
事 業 費	241,097 円		
対 象 者	地域住民・自治会・水利組合・土地改良区・大宮絆プロジェクト・中学生		
参加者数 （内訳）			

参加者	令和6年度	令和5年度
機械持ち込み	43名	33名
一般&スタッフ	17名	27名
中学生	77名	27名
合計	137名	87名

住民の声（アンケートの結果等）	・土地改良区の参加者は、高齢者が多く、体力に合わせて作業を行っていました。 ・中学生の参加も多く、今後も多くの子どもたちに地域の環境を守る活動に参加をしてもらいたい。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・新別府川の護岸の草がはびこって散歩しにくい。農道に不法なゴミの放棄がある。
	②住民の参加	A	A	・住民を始め、中学校にボランティアの募集し多くの住民に参加してもらう。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「豊かな自然と生活環境を守り育てるまち大宮」（環境美化への取り組みが充実しているまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・水利組合、土地改良区、自治会、青少協と連携して実施している。
広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシの回覧 ・自治会へ協力要請 ・学校へ協力依頼 ・HP で募集
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・活動を通じて、住民の皆さんが環境の危機にさらされていることに意識を持っていくことが大切
	⑦住民の満足度	A	A	・参加した方が、それぞれできる作業をしてもらった。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・天気にも恵まれ、作業の効率は上がった。 ・参加者の年齢が高くなっているので、若い人を巻き込んだ事業が後々の継続につながると思う。 ・中高生のボランティア維持や事業継続を視野に入れて活動する必要がある

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	親子でできる環境学習事業	実施年数	8年目
事業期間	開始：平成29年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 　豊かな自然と生活環境を守り育てるまち大宮 　（地元を愛し、自然環境や景観を大切にするまち） 　大宮の豊かな自然に親しみ、景観を大切にして、快適に暮らせるまちにします。 【努力目標】・美しい景観を良好に維持するための環境保全活動		
目　的 （期待される効果）	・夏休みに親子で環境に係る学習を実施することで、環境に対する意識の向上に役立てる。 ・親子で同じ目的を持って活動をすることで、親子の情愛や信頼関係を育む。		
事業内容・手段	・「廃油で石鹸を作ろう」というテーマで参加者を募ったところ、親子より大人の申し込みが多く急遽一般参加者も募った石鹸作りになった。 ・夏休みに、大淀川学習館の出前講座を利用し、新別府川の水辺学習を親子で体験をする事業を計画しました。 ・募集の手段は、自治区と学校にチラシを配布しました。		
事 業 費	35,074 円		
対 象 者	地域住民（親と子・祖父母と孫）		

参加者数（内訳）

年度	令和6年度		令和5度	
	水辺学習	環境学習	水辺学習	環境学習
一般参加者	29名	16名	23名	15名
スタッフ	5名	4 名	7名	6名
合 計	34名	20 名	30名	21名

住民の声（アンケートの結果等）

・使用済みの家庭用油が固形石鹸になる工程とリサイクルを学ぶことができた。
・油臭さも無く、石鹸を溶かして使えば、家じゅうの洗剤として使える万能石鹸の良さをもっと PR するとよいと思った。
・新別府川に棲む水中生物を親子で捕ったり観察したりと学ぶことがいっぱいあった。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・毎年夏休みの自由研究として人気のある企画である。
	②住民の参加	A	A	・３密を避け募集人員を限定した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「豊かな自然と生活環境を守り育てるまち大宮」（地元を愛し、自然環境や景観を大切にするまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・宮崎市の環境学習パートナーと、大淀川学習館の出前講座との連携した活動。
広報	⑤事業の周知	A	A	・地域への回覧と共に学校に依頼しＰ戸数配布も行っている。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・環境問題への意識向上につながる。 ・親子の触れ合いや三世代交流も視野に入れる。
	⑦住民の満足度	A	A	・暑い中ではあったが親子で川の中に入り水中生物を捕ったり観察したりする活動の楽しさや特定外来種の違法な放棄など学ぶことができた。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・使い終わった家庭用廃油で液体洗剤や固形石鹸が作れる工程に、参加者の皆さんはとても興味を持って作業をされていました。 ・新別府川に親子で入って小魚を捕ったり、観察したりすることはなく、大淀学習館の専門職の方から絶滅危惧種、外来種の繁殖や危惧など、貴重な話が聞けて良かった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 健康づくりに係る事業

事 業 名	大宮地区ウォーキング大会実施事業	実施年数	４年目
事業期間	開始：令和３年度	終了：令和　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 　子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮 　（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち） 　ひとりひとりが健康に留意し、スポーツ・レクレーションに参加し、仲間と楽しみ、心身共に健康に暮らします。 【努力目標】・スポーツやレクレーション、散歩等の生活化とその環境整備・健康維持や病気予防等に関する各種研修会、講演会等の実施とその内容の周知・健康体操のあらゆる機会、場所での実践推奨		
目　的 （期待される効果）	・ウォーキングを通して、地域間の親睦、3世代交流と健康の増進を図る。		
事業内容・手段	・実施日・令和６年 11 月 17 日（日） ・会　場：平和台公園散歩コース（集合場所）平和台公園第２駐車場 ・内　容：今年は前日までの雨や池内フェスタと重なった影響もあり 235 名の参加者であったが、盛会裏に終了した。		
事 業 費	67,388円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）			

年　度	令和６年度	令和５年度
一般参加者	212 名	272 名
スタッフ	23 名	23 名
合　計	235 名	295 名

住民の声（アンケートの結果等）	・子どもと一緒にウォーキングを楽しむことができ楽しいイベントでした。 ・

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・ウォーキング等で運動したいとの欲求は多い。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	A	A	・老若男女多くの住民が参加した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「こどもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮」（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち）を実現する事業である。
効果的・効率的な取組み	④各種団体との連携	A	A	・大宮地区体育会との共催で自治会にも協力いただいている。
広報	⑤事業の周知	A	A	・広報誌、HP に掲載 ・大宮地域全世帯と小・中学校にチラシを配布した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・参加者も多く、世代を超えてみんなが楽しめる事業となった。
事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	・多くの参加者があり、喜んでもらえた。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・管理事務所に対し、事前に駐車場の開場をお願いしていたため、当日の準備が余裕を持って行うことができた。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	大宮地区夏休みのラジオ体操参加事業	実施年数	10 年目
事業期間	開始：平成27年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 　子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮 　（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち） 　ひとりひとりが健康に留意し、スポーツ・レクレーションに参加し、仲間と楽しみ、心身共に健康に暮らします。 【努力目標】・スポーツやレクレーション、散歩等の生活化とその環境整備・健康維持や病気予防等に関する各種研修会、講演会等の実施とその内容の周知・健康体操のあらゆる機会、場所での実践推奨		
目　的 （期待される効果）	・大宮小学校と池内小学校校庭で、早朝にラジオ体操を行い、世代間の交流と健康増進・ラジオ体操の普及に努める。		
事業内容・手段	宮崎市体育会連合会主催の「夏休みラジオ体操」事業に協賛する。 ・会　場：大宮小学校と池内小学校 ・内　容：大宮地区の全世帯に案内チラシを配布し、参加者を募集した。 ・実施日：令和6年８月３日（土） 　　昨年度は雨の為中止となったが、今年は無事に開催できた。		
事 業 費	49,759円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和６年度	令和５年度
大宮小	173 名	
池内小	68 名	
スタッフ	（スタッフは会場参加者に含む）	
合 計	241 名	

住民の声（アンケートの結果等）	・大宮小では、中学生が友達同士誘い合いで参加してくれているグループや祖父母と一緒に参加された幼児の姿もあり、老若男女元気にラジオ体操ができた。 ・池内小では、校長先生・教頭先生はじめ 10 名の先生が参加してくださった。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・どうしても夜更かししがちな児童に生活のリズムを取り戻させる。
	②住民の参加	A	A	・例年、児童、保護者、学校関係者も参加している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「こどもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮」（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・地区体育会との共催事業で実施。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・自治会の全世帯に案内チラシを配布した。 ・夏休み前に、学校が児童・保護者に参加呼びかけを行った。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	対象外	・3世代交流という点でも意味があった.
	⑦住民の満足度	A	対象外	・多くの参加者があり、喜んでもらった。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・ 大宮小学校には、体操カード配布していないことを事前に確認していたが、実際には体操カードを持参した児童が9名ほどいた。教頭先生が職員室からスタンプを探して貸してもらえ、無事に押印することができた。大宮小学校の生徒ではない児童の参加を考慮し、大宮小学校でのスタンプ準備が必要である。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>大宮地区大運動会実施事業</td><td>実施年数</td><td>２年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和5年度</td><td colspan="2">終了：　年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
　子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮
　（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち）
　ひとりひとりが健康に留意し、スポーツ・レクレーションに参加し、仲間と楽しみ、心身共に健康に暮らします。
【努力目標】・スポーツやレクレーション、散歩等の生活化とその環境整備・健康維持や病気予防等に関する各種研修会、講演会等の実施とその内容の周知・健康体操のあらゆる機会、場所での実践推奨</td></tr>
<tr><td>目　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・大運動会を通して、地域間の親睦と健康の増進を図る。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・会　　場：大宮小学校運動場
・内　　容：自治会単位で赤団、白団、青団を編成し、団体競技や個人競技を予定。
・実 施 日：令和６年 10 月 14 日（祝）の予定であったが、雨のため中止となった。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">125,989円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年 度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td></td><td>約600 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td></td><td>30 人</td></tr>
<tr><td>合 計</td><td></td><td>約630 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・「外での行事はお天気次第なので仕方ないですね。来年に期待しています。」との励ましの言葉があった。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・住民の健康に関する関心度は高い。
	②住民の参加	A	A	・大人や子どもたちが大勢参加した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「こどもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮」（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・地区内の自治会や親子会等に協力して頂いた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシの全戸配布、広報誌や HP 等
事業の効果	⑥課題解決への作用	対象外	A	・「地区住民の親睦の輪」を広げるために役立った。
	⑦住民の満足度	対象外	A	・久しぶりの運動会で参加者も多く、場内に笑顔が広がった。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・中止になり残念であったが、ボランティアとして高校生の支援を予定していたので、来季に繋がる事前の取組みを行うことができた。
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞　対応　未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞　対応　未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	宮崎市地区対抗駅伝大会参加事業	実施年数	15 年目
事業期間	開始：平成22年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 　子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮 　（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち） 　ひとりひとりが健康に留意し、スポーツ・レクレーションに参加し、仲間と楽しみ、心身共に健康に暮らします。 【努力目標】・スポーツやレクレーション、散歩等の生活化とその環境整備・健康維持や病気予防等に関する各種研修会、講演会等の実施とその内容の周知・健康体操のあらゆる機会での実践推奨		
目　的 （期待される効果）	・駅伝大会出場を通して、地域間の親睦と健康の増進を図る。		
事業内容・手段	・会　　場：生目の杜運動公園 ・内　　容：・12月に参加選手を募集した。 ・大会１週間前にタイムトライアルを行い、会場の下見と試走を行った。 ・男子2チーム、女子2チームを編成した。 ・実施日：令和７年1月19 日（日）		
事 業 費	83,006円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和６年度	令和５年度
一般参加者	30 人	30 人
スタッフ	23 人	25 人
合 計	53 人	55 人

住民の声（アンケートの結果等）	・今年のチームは男子が２位、女子が３位となり、個人の記録でも男女とも１名が区間賞を獲得、「来年は期待がもてる。」との評価であった。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・世代間の交流、地域間の親睦と健康の増進を図る。
	②住民の参加	A	A	・学校・自治会関係者、選手の保護者、駅伝愛好者が応援の為、参加した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「こどもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮」（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・大宮地区体育会、自治会とも連携した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・広報誌・HP やチラシの配布（自治会、小・中学校）
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・小中学校生徒と大人が選手として出場したこともあり、世代を問わず一体感を持つことができた。
	⑦住民の満足度	A	A	地域内の親睦の輪を広げることができた。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・反省会では選手や多くのスタッフ（含む応援者）が参加し、来年度のことや、練習方法など、熱心な話で盛り上がりました。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	大宮地区グラウンドゴルフ大会実施事業	実施年数	15 年目
事業期間	開始：平成22年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 　子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮 　（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち） 　ひとりひとりが健康に留意し、スポーツ・レクレーションに参加し、仲間と楽しみ、心身共に健康に暮らします。 　【努力目標】・スポーツやレクレーション、散歩等の生活化とその環境整備・健康維持や病気予防等に関する各種研修会、講演会等の実施とその内容の周知・健康体操のあらゆる機会での実践推奨		
目　的 （期待される効果）	・グラウンドゴルフを通して、地域住民の親睦と健康の増進を図る。 ・市の地区対抗グラウンドゴルフ大会（令和７年３月実施予定）に出場する大宮地区体育会代表２チームを選出する。		
事業内容・手段	・会　　場：平和台公園運動広場 ・内　　容：1月に参加チームを募集した。 ・実 施 日：令和７年2月２日（日）に開催、当初 102 人の申し込みであったが、当日インフルエンザなどで５名の棄権が発生した。 90 歳２名の方を含め、参加者 97 名が元気よくプレーされた。		
事 業 費	65,074円		
対 象 者	地域住民		

参加者数（内訳）

年 度	令和６年度	令和５年度
参加者	97 人	人
スタッフ	12 人	人
合 計	109 人	人

住民の声（アンケートの結果等）	・前日の雨で開催が心配されたが、グランドコンディションも競技に影響を及ぼすほどでもなく「無事に開催できて良かったですね。」と労いの言葉を受けた。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・グラウンドゴルフを通して、地域内の親睦と健康の増進を図る。
	②住民の参加	A	A	・大宮地区体育会所属の会員を主体に 97 名の申し込みがあった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「こどもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮」（スポーツやレクレーションに親しみ、健康でいきいき暮らすまち）を実現する事業である。
	④各種団体との連携	A	A	・大宮地区体育会と共催し、自治会の協力もいただいている。
広報	⑤事業の周知	A	A	・HP に記載、自治会へチラシの配布依頼などで広報を行った。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	対象外	・グラウンドゴルフを通して地域の交流や絆づくりに役立っている。
	⑦住民の満足度	A	対象外	・前日の雨で中止が危ぶまれたが、無事に開催できて参加者から喜ばれた。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・事前に２１チーム、102 名の申し込みがあったが、当日インフルエンザなどで５名棄権となり 97 名の参加となった。 ・集計時パソコンの調子が悪くなり団体の表彰に時間がかかった。

地域協議会からの意見への対応			
	<地域協議会からの意見（令和　年　月・　）> <意見への対応>	対応	未・済
	地域協議会からの意見（令和　年　月・　）> <意見への対応>	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5]伝統文化に係る事業

事 業 名	地域の歴史を継承する事業	実施年数	5年目
事業期間	開始:令和２年度	終了:　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 地域の歴史や伝統を守り育てるまち大宮 （歴史、文化、伝統芸能・行事が次世代に継承されるまち） 大宮地域には神話に登場する場所や、昔から伝わる祭・行事、芸能などの伝統文化があります。それらを地域の誇りとして次世代の子ども達に伝え、想像力、心の豊かさを育みます。 【努力目標】・地区行事への積極的参加と次世代への継承		
目　的 （期待される効果）	・遺跡や史跡を紹介し、「大宮の良さ」を理解してもらう。		
事業内容・手段	・地域住民を対象に遺跡や史跡の探訪会を開催する。 部員が講師となり、平和台周辺の遺跡・史跡の紹介を行った。 歴史探訪には公募を行い３４名の参加があった。 ・部員の勉強会を充実させ、講師の育成を図る。 令和６年度は７回の部会を開催し、部員間で地域の歴史を学習した。 ・部員が小中学校のまち探検、歴史探訪会の講師になり、地域の史跡・遺跡の紹介をする。 大宮中の歴史探訪の学習に講師として協力した。		
事 業 費	35,142 円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）	年 度 / 令和6度 / 令和5年度 一般参加者 / 約 350 名 / 約200名 スタッフ / 18 名 / 19名 合 計 / 約370名 / 約 220 名 ※参加者は、講演会と歴史探訪（大宮中、大宮小）の参加者を含め集計している。		
住民の声（アンケートの結果等）	・住民の地域の歴史に対する関心は高く、今後も工夫を重ね、歴史探訪会を継続していきたい。探訪会では身近なところに今まで知らなかった歴史があることを知ることができたとの声も多数聞かれた。		

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・チラシを見て、多数の参加申し込みがあり、地域歴史に対する関心度は高い。
	②住民の参加	A	A	・探訪会を開催、中学校の歴史探訪に参加した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「地域の歴史や伝統を守り育てるまち大宮」（歴史、文化、伝統芸能・行事が次世代に継承されるまち）を実現する活動である。
	④各種団体との連携	A	A	・学校の先生方とコースやグループ分けについて打合せを行い実施した。
広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシやホームページで参加を呼びかけコミュニティ大宮の広報誌「絆」やホームページでまち探検や探訪会の様子を報告した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・歴史を知ることで地域に対する理解や愛着が深まっている。
	⑦住民の満足度	A	A	・現地で説明してもらうと内容が良く理解できたと好評でした。 ・小学生は歴史探訪の後丁寧な感想文を送ってくれました。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・歴史探訪ウォークは、比較的長距離をあるきながら遺跡・史跡を説明したがスムーズに探訪を実施できた。野外での説明は聞こえにくいとの意見もあり拡声器の使い方を改善したい。 ・大宮小学の歴史探訪は久しぶりの開催でありどのようなコースでどこを説明するかなど悩ましい課題もあったが先生方と協議し計画を立案した。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>伝統芸能保存の活動支援事業</td><td>実施年数</td><td>2年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和5年度</td><td colspan="2">終了：　年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
地域の歴史や伝統を守り育てるまち大宮
（歴史、文化、伝統芸能・行事が次世代に継承されるまち）
大宮地域には神話に登場する場所や、昔から伝わる祭・行事、芸能などの伝統文化があります。それらを地域の誇りとして次世代の子ども達に伝え、想像力、心の豊かさを育みます。
【努力目標】・地区行事への積極的参加と次世代への継承</td></tr>
<tr><td>目　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・大宮地域には、「六月踊り」「金閣寺踊り」が伝えられている。これらの踊りを継承する活動に対して支援を行う。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・「六月踊り」「金閣寺踊り」の保存や継承の活動を行っている団体の支援を行う。
大宮小の児童に踊りを指導し、また地区行事への積極参加を行う等、伝統芸能の保存継承活動を行っている団体を支援した。
・現在継承されている芸能の記録を作成し伝承の一助とする。
踊り保存会が活動する様子をビデオ映像にして保存する。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">60,000 円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">六月踊り保存会、金閣寺踊り保存会</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td></td><td colspan="2">令和6年度</td><td colspan="2">令和5年度</td></tr>
<tr><td></td><td>六月踊り</td><td>金閣寺</td><td>六月踊り</td><td>金閣寺</td></tr>
<tr><td>対象児童</td><td>780 名</td><td rowspan="2">8名</td><td>135 名</td><td rowspan="2">8名</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>59 名</td><td>5 名</td></tr>
<tr><td>合計</td><td></td><td>8名</td><td>140 名</td><td>8名</td></tr>
</table>（六月踊りの対象児童は、田植え・稲刈り、運動会の指導を含む。）</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・地域の伝統芸能として後世に伝えたいが、高齢化とともに継承が困難になっている。子どもたちが伝統の踊りを運動会で踊り、若い世代が受け継がれるのはうれしい。
・コロナ後も感染症が多発し踊りの披露や地域と学校との交流の場が失われて残念であった。今後は会員や地域住民に披露できる機会をとらえ、発信して欲しい。
・運動会の踊りの練習や本番での指導、田植えと稲刈りの支援などで六月踊り保存会のメンバーに指導いただき感謝している。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域の伝統芸能として残したいが後継者が少なくなってきた。
	②住民の参加	A	A	・運動会の指導は練習4回、本番で行った。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・基本目標:「地域の歴史や伝統を守り育てるまち大宮」（歴史、文化、伝統芸能・行事が次世代に継承されるまち）を実現する活動である。
	④各種団体との連携	A	A	・学校や保存会の連携
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」や HP で各団体の活動を紹介した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・運動会で披露することで地域の認識が高まるとともに、児童が身をもって踊りを体感できる。
	⑦住民の満足度	A	A	・六月踊りを運動会で踊ることで伝統芸能に対する関心と愛着が深まり継承への機運も高まっている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・大宮小の5年生が運動会で「六月踊り」を披露してくれた。 ・継承者については、運動会で小学生が踊ったことを記憶に留めていつの日か「保存活動に参加してくれれば」と期待しています。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	遺跡の解説看板設置事業	実施年数	12年目
事業期間	開始：平成25年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 地域の歴史や伝統を守り育てるまち大宮 （歴史、文化、伝統芸能・行事が次世代に継承されるまち） 大宮地域には神話に登場する場所や、昔から伝わる祭・行事、芸能などの伝統文化があります。それらを地域の誇りとして次世代の子ども達に伝え、想像力、心の豊かさを育みます。 【努力目標】・歴史、文化、伝統芸能が次世代に継承されるまち		
目　的 （期待される効果）	・地域の歴史を周知するとともに、大宮の良さを理解し、大宮に愛着を持ってもらう。		
事業内容・手段	・歴史的謂れ、遺跡や史跡を調査し、解説看板を設置する。 ・藩境石「従是延岡領」の解説看板を設置した。		
事 業 費	143,000 円		
対 象 者			
参加者数 （内訳）	年 度 ／ 令和５年度 ／ 令和5年度 スタッフ ／ 18人 ／ 19人 合 計 ／ 18人 ／ 19人		
住民の声（アンケートの結果等）	・計画通りに看板が設置され、地域の貴重な遺跡への関心と理解が深められていると思う。		

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・まちの歴史を物語る遺跡を大切にしたい。
	②住民の参加	A	A	・「歴史探訪会」や「解説看板」をきっかけに地域の歴史への関心が高まっている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標：「地域の歴史や伝統を守り育てるまち大宮」（歴史、文化、伝統芸能・行事が次世代に継承されるまち）の実現する活動である。
	④各種団体との連携	A	A	・地域の大学や歴史家の意見を伺いながら資料を調査した。
広報	⑤事業の周知	A	A	・遺跡の解説看板設置をコミュニティ大宮の広報誌「絆」やHPでも紹介した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・以前発行した「大宮の歴史探訪」も併用しながら、歴史探訪とも連携した活用を図りたい。
	⑦住民の満足度	A	A	・地域の歴史に関心を持つきっかけになり、身近にある遺跡や史跡が歴史的に貴重であることを誇りに思う人が多い。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・その場所の謂れや、史跡を紹介する資料が掲載されているので、訪問者が誰でもその場所の歴史を理解できる。 ・解説看板のガイドマップを作成することを検討したい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

［6］地域教育に係る事業

事 業 名	学校ボランティアへの支援事業	実施年数	15年目
事業期間	開始：　平成22年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 元気にあいさつするまち大宮 （地域・学校・家庭が協力し、子どもから大人まで学び合うまち） 豊かな教養を身につけるため読書活動を推進します。 【努力目標】・学校、家庭、地域が一体となった読書活動の推進・公民館講座等の学習機会の充実		
目　的 （期待される効果）	・地域の幼・保・小・中学校の授業・行事・ふれあい活動に協力する学校ボランティアを支援する。		
事業内容・手段	・学校行事・授業等の協力者である地域ボランティアを支援する為に、各学校にお茶を提供した。（2 月までの提供実績は 786 本、61，410円） ・こころの居場所ボランティア活動へのお茶提供 360 本16，378 円 ・実施時期：令和 6 年5月から令和 7 年2月		
事 業 費	61，410円		
対 象 者	地域住民の学校支援ボランティア		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和 6 年度	令和5年度	
一般参加者	のべ 937 名	のべ 510 名	
スタッフ	15 名	15 名	
合 計	のべ 937 名	のべ 525 名	

※　今年度は各学校の集計人数とした。

住民の声（アンケートの結果等）	・各学校から「お茶の提供は本当にありがたい。」と感謝された。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	・地域と学校の連携を促進する。
	② 住民の参加	A	A	・学校ボランティアとして多くの住民が参加している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「元気にあいさつするまち大宮」（地域・学校・家庭が協力し、子どもから大人まで学び合うまち）を実現する事業である。
	③ 各種団体との連携	A	A	・学校・PTA 等

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」や HP で周知する。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・学校との緻密な連携による地域活動参加が重要。
	⑦住民の満足度	A	A	・各学校から「本当にありがたい。」と感謝されている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	・学校ボランティアへのお茶の提供ではなく、地域の方の児童・保護者にとって、真に必要なものは何かを探り、今後の活動に活かしていきたいとのスタンスであったが、現在はまだ実行できていない。

地域協議会からの意見への対応			
	<地域協議会からの意見（令和　年　月・　）> <意見への対応>	対応	未 ・ 済
	<地域協議会からの意見（令和　年　月・　）> <意見への対応>	対応	未 ・ 済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	あいさつ運動推進事業	実施年数	13年目
事業期間	開始：　平成24年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 元気にあいさつするまち大宮 （みんながあいさつし、みんなが友だちになるまち） 地域全体で「あいさつ運動」を推進し、元気なまち、安心で優しさのあるまちを目指します。 【努力目標】・学校、家庭、地域が一体となったあいさつ運動の推進・青少年への温かい声かけ運動の推進		
目　的 （期待される効果）	・明るくふれあいのあるまちづくりを目指して、児童・生徒と地域住民との対話の拡大をねらいとする。		
事業内容・手段	・「大宮の子どもを育てる５ヶ条」の５項「あいさつ運動」を推進する為に、今期は池内城址登り口に設置している看板が色褪せして何の看板かわかりにくくなっていたため取替えを行った。		
事 業 費	59,400 円		
対 象 者	小・中学校の児童生徒、地域住民		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和4年度	令和3年度
一般参加者	人	人
スタッフ	人	人
合 計	人	人

住民の声（アンケートの結果等）	・看板設置を行って啓発しているが、最近では不審者による事件報道があるため、学校で知らない人の声かけは無視するように指導されているため、地域の方が挨拶しても児童が挨拶を返さないとの声がある。 ・挨拶は学校や地域だけで教えるものではなく、家庭が実践すべきとの意見がある。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	・大宮地域魅力発信プランの第一基本目標である。
	② 住民の参加	A	A	・まちづくりの重要な活動であり、地域住民への影響も大であった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「元気にあいさつするまち大宮」（みんながあいさつし、みんなが友だちになるまち）を実現する活動である。
	③ 各種団体との連携	A	A	・学校・PTA 等

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」や HP で周知する。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・学校を含めた地域全体の運動として展開した。
	⑦住民の満足度	A	A	・前頁「住民の声」と同じ
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	・各学校内外に「あいさつ運動」の立看板が設置され、各校の「あいさつのぼり旗」も充実してきた。「あいさつ運動」の推進は、学校ばかりではなく、地域住民にもよい影響をもたらしている。

地域協議会からの意見への対応			
	<地域協議会からの意見（令和　年　月・　）> <意見への対応>	対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和　年　月・　）> <意見への対応>	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	「はたちの成人」に対するまちづくり啓発事業	実施年数	3年目
事業期間	開始：令和4年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 元気にあいさつするまち大宮 （みんながあいさつし、みんなが友だちになるまち） 地域全体で「あいさつ運動」を推進し、元気なまち、安心で優しさのあるまちを目指します。 【努力目標】・学校、家庭、地域が一体となったあいさつ運動の推進・青少年への温かい声かけ運動の推進		
目　的 （期待される効果）	・母校である大宮中学校（体育館）で行われる「成人式」に出席した新成人を幼・小・中学生と共に地域住民で祝い、地域まちづくり推進活動の周知を図る。		
事業内容・手段	・「はたちの成人」に対し地域まちづくり活動への意識向上を図るため、アンケートを実施するとともに記念写真を贈呈した。 ・今年は、初めて保護者へのアンケート調査を実施した。 ・QR コードからまちづくりHP上の式典のスナップショットを格納したコーナーにアクセスできるようにした。 ・実施時期：令和 7 年1月 12 日（日）		
事 業 費	310,440円		
対 象 者	地域の20歳を迎えた新成人		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和 6 年度	令和 5 年度	
新成人	126 名	142 名	
スタッフ	80 名	35 名	
合 計	206 名	177 名	

住民の声（アンケートの結果等）	・新成人に対するアンケートの結果、「まちづくり」の認知度は約 19%と低かったが、約 49%の方が「まちづくりの活動に参加したい。」と回答した。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・新成人と地域をつなぐ活動が必要である。
	②住民の参加	A	A	・保護者も参加できるようになり良かった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「元気にあいさつするまち大宮」（みんながあいさつし、みんなが友だちになるまち）を実現する活動である。
	④各種団体との連携	A	A	・青少年育成協議会、民生委員・児童委員協議会・市絆プロジェクトの協力をいただいた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」や HP で周知する。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・まちづくりのアンケートで活動の意識付けができた。
	⑦住民の満足度	A	A	・中学校時代の恩師や多くの関係者、保護者が参加し、盛会であった。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・今年初めて実施した保護者アンケートで、新成人に比べ保護者の「まちづくり活動に参加したい」の回答が 10 ポイント低い。まだ意識が高い新成人など若者を引き付ける活動をどのように構築していくのかが課題である。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	時間を守る運動の推進事業	実施年数	10年目
事業期間	開始:平成27年度	終了:　年度	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 元気にあいさつするまち大宮 （子どもも大人も時間を守るまち） 時間を守ることは、規範意識を高める第一歩です。時間厳守からきまり正しい地域社会を目指します。 【努力目標】・時間を守る運動の推進・地域のきまりを守る運動の推進		
目　的 （期待される効果）	・地域の目標「子どもも大人も時間を守るまち」の運動を推進する。		
事業内容・手段	・下北方町の「景清廟」社務所の道路側の壁に設置。		
事 業 費	71,279 円		
対 象 者	地域住民		
参加者数 （内訳）			

年 度	令和4年度	令和3年度
一般参加者	人	人
スタッフ	人	人
合 計	人	人

住民の声（アンケートの結果等）	・設置箇所は小学生の登校班集合場所であり、道路からの視認性も良いことから、自治会長さんから「地域の方から、道路から見やすいし、車からもわかりやすくてとてもありがたいと喜ばれています。」との連絡があった。

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	・「子どもも大人も時間を守るまち」の運動推進。
	② 住民の参加	A	A	・地域住民に呼びかけている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「元気にあいさつするまち大宮」（子どもも大人も時間を守るまち）を実現する活動である。
	③ 各種団体との連携	A	A	・各学校およびPTA、大宮地区青少年育成協議会とも連携

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」やHPで周知した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・小中学校を中心として、PTA、地域住民が一体となり、時間を守るまちの運動を推進した。
	⑦住民の満足度	A	A	・地域住民に時間を守ろうとの意識が向上してきた。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・自治会に設置場所の希望調査を事前に行い、設置を行った。 ・今後は子どもばかりでなく、「人の集まる場所」に時計を設置していきたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>学校と地域のリーダー育成事業</td><td>実施年数</td><td>8年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成29年度</td><td colspan="2">終了：　年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
元気にあいさつするまち大宮
（地域・学校・家庭が協力し、子どもから大人まで学び合うまち）
豊かな教養を身につけるため読書活動を推進します。
【努力目標】・学校、家庭、地域が一体となった読書活動の推進・公民館講座等の学習機会の充実</td></tr>
<tr><td>目　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・地域を知る講習会を開き地域の歴史に理解を深め、地域まちづくりの活動への参加を促す。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・大宮中学校、池内小学校ではそれぞれの学校内で、まちづくりスタッフが先生方に大宮地区の歴史を紹介しました。
・大宮小学校では、これまでリーダー育成事業に参加された先生により、池内城址視察、生目遊古館見学などを実施しました。
実施日：池内小学校　令和6年7月26日（金）
大宮小学校　令和6年7月26日（金）
大宮中学校　令和6年7月29日（月）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">12,070円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域の小中学校の先生とPTA</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年 度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>約 65 人</td><td>約 52 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>３人</td><td>３人</td></tr>
<tr><td>合 計</td><td>約 68 人</td><td>約 55 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・「大宮の歴史について勉強する良い機会となった。」</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	・大宮の歴史について地域住民の関心が高くなっている。
	② 住民の参加	A	A	・学校の生徒や先生方を対象とした。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	基本目標:「元気にあいさつするまち大宮」（子どもから大人まで学び合うまち）を実現する活動である。
	③ 各種団体との連携	A	A	・大宮のお宝発掘・発信事業のパネルを利用した。
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」や HP で周知する。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・小学校の児童や先生方に地域の歴史を理解していただく良い機会となった。
	⑦住民の満足度	A	A	・学校との連携により、成果も年々高まっている。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・今期は大宮小学校で、これまでリーダー育成事業に参加した先生が講師となり研修を実施。 ・また、4 年生が新たに大宮地域の歴史や史跡を教材にした学習をスタートさせるなど、先生方の地域研修の成果が現れてきた。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7]その他の事業

事　業　名	まちづくり活動の広報事業	実施年数	5年目
事業期間	開始:令和2年度	終了：　年度	
地域魅力発信プランとの関連	大宮地域の魅力発信プラン 地域の歴史や文化と豊かな自然を大切にする元気でやさしいまち「大宮」		
目　的（期待される効果）	・大宮地域のまちづくりを進める事業に、多くの地域住民に参加いただくよう、推進委員会の事業内容や地縁団体の活動を広報する。		
事業内容・手段	・広報誌「絆」の発行（８，５００部×２回） 実施時期：令和６年１０月　Ｎｏ28 令和７年　２月　Ｎｏ29 ・ＨＰの更新を行った。 ・LINE による連絡手段を検討する。		
事　業　費	495,864 円		
対　象　者	地域住民		
参加者数（内訳）	年　度 / 令和6年度 / 令和5年度 スタッフ / ７名 / ７名 発行部数 / ２回（各8500部） / ２回（各8500部） まちづくりの HP 更新は事務局にて実施		
住民の声（アンケートの結果等）	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」は行事の様子が写真で紹介されており、わかりやすいとの評価をいただいている。		

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・まちづくり推進委員会の活動の広報を充実させてほしいとの意見がある。
	②住民の参加	対象外	対象外	・まちづくり、公民館、社協の事務局が作成し住民の参加はない。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・まちづくり活動を住民に広報し参加を促す。
	④各種団体との連携	A	A	・地域事務所、公民館、地区社協と連携して活動している。
広報	⑤事業の周知	A	A	・コミュニティ大宮の広報誌「絆」や HP、チラシ、掲示板で広報する。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・まちづくりや地縁団体の活動を紹介することで、住民の「きずなづくり」のきっかけになっている。
	⑦住民の満足度	A	A	・コミュニティ大宮が発行する「絆」は写真中心の記事でわかりやすいとの評価をいただいている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・各事業や地域の行事に参加して、HP や広報誌「絆」でその様子を広報している。 ・まちづくり活動の大切さや「きずな」のある暮らしの楽しさを伝えている。 ・LINE による部会の連絡網を整備している。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『�未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『㊖』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>リーダー育成事業</td><td>実施年数</td><td>14年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始:平成23年度</td><td colspan="2">終了:　年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">大宮地域の魅力発信プラン

地域の歴史や文化と豊かな自然を大切にする元気でやさしいまち「大宮」</td></tr>
<tr><td>目　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・まちづくりのリーダーになる人材を育成するために、「まちづくり先進地」を視察し、他地域の取り組みを学び知識を深める。
・リーダー相互の親睦を深める。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・まちづくり先進地を訪問し、その取り組みを学ぶ。
・実施日：令和６年１２月８日、９日（一泊二日）。
・熊本県人吉市を訪問し水害が発生した後、復旧に向け活動したボランティアセンターの活動の状況を福祉協議会や自治会の関係者から説明いただきました。
その後、活動の課題や日頃の備えをどうすべきかなどの意見交換をおこない有意義な研修になった。大宮でも人吉の教訓を生かして防災活動の改善に取り組む。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">871,938円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">大宮地域まちづくり推進委員会委員及び地域住民からの公募</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年 度</td><td>令和6度</td><td>令和5度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>20名</td><td>14名</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>3名</td><td>4名</td></tr>
<tr><td>合 計</td><td>23名</td><td>18名</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・活動の課題や日頃の備えをどうすべきかなどの意見交換をおこない有意義な研修になった。大宮でも人吉の教訓を生かして防災活動の改善に取り組む。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・リーダーの育成と交流が急務である。
	②住民の参加	A	A	・参加者の公募や自治会、各種団体からの推薦をお願いしている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・まちづくりの後継者育成とリーダー間の交流の場とする。
	④各種団体との連携	A	A	・自治会や地域の各団体に参加を呼び掛けている。
広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシの回覧、HPへの掲載、地域に団体への参加依頼など行っている。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・早急な効果は表れないが継続が重要である。 ・宮崎市の補助制度創設の働きかけを行う。
	⑦住民の満足度	A	A	・まちづくりの課題について意見を交換する大切な場となっている。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・単なる災害対策ではなく、復旧活動の中で必須となるボランティアセンターにフォーカスした研修を行い、具体的な活動や問題点を理解することができた。 大宮で行う訓練に生かしていきたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ 意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 名	まちづくり事務局支援事業	実施年数	8年目
事業期間	開始:平成29年度	終了:　年度	
地域魅力発信プランとの関連	大宮地域の魅力発信プラン 地域の歴史や文化と豊かな自然を大切にする元気でやさしいまち「大宮」		
目　的 （期待される効果）	・まちづくり事務局の活動を支援し、活動の活性化を図る。		
事業内容・手段	・事務局の業務支援を行う。 ・会議出席、役員業務に係る費用弁償を行う。 ・事務局が使用する事務機器や消耗品を購入する。 ・活動の事故対策として、推進委員全員にボランティア活動保険を掛ける。		
事 業 費	748,858円		
対 象 者			
参加者数 （内訳）			
住民の声（アンケートの結果等）			

年 度	令和3年度	令和2年度
一般参加者	人	人
スタッフ	人	人
合 計	人	人

◆自己評価（評価:A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	対象外	対象外	
	②住民の参加	対象外	対象外	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の魅力発信プランの実現を支援する取り組みである。
	④各種団体との連携	A	A	・地域内や市内の各種地縁団体と情報交換を行っている。
広報	⑤事業の周知	対象外	対象外	
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・事務局の運営の支援
	⑦住民の満足度	対象外	対象外	
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・部員の連絡網として LINE を使うことにして携帯電話を購入した。 今後部員の登録と活用を進める。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、
次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	総合防災推進事業

（1） 収入の部 （単位:円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	50,244	
2	令和5年度繰越金	37,072	
3	雑収入	1,613	
4	負担金		
5	合計(A)	88,929	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	3,000	費用弁償 1人分
4	需用費	85,929	食糧費 38,118円 賄材料･他 25,412円 消耗品 22,399円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計(B)	88,929	

収支差額(A)－(B)	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	安全・安心の防犯パトロール事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	492,960	
2	令和5年度繰越金	7,040	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	500,000	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料	500,000	スクールゾーン設置
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	500,000	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	福祉講習会事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	57,234	
2	令和5年度繰越金		
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	57,234	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	大宮中学校吹奏楽部お礼 10,000円
3	旅費		
4	需用費	37,234	印刷費 20,750 円（チラシ・垂れ幕） 食糧費 10,890円（お茶） 消耗品 5,594円（ビニール袋・手土産）
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	10,000	楽器運搬費
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	57,234	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	安心カード推進事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	27,776	
2	令和5年度繰越金	15,866	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	43,642	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	6,000	費用弁償2人分
4	需用費	37,642	印刷費 24,650円（チラシ ） 消耗品 12,992 円 （マグネット ）
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	43,642	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	「ふれあい茶話会」支援事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	57,010	
2	令和5年度繰越金	37,990	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	95,000	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費	95,000	立ち上げ謝礼 20,000円 継続謝礼 75,000円 @5,000円×15団体
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	95,000	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	新別府川クリーンアップ事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	138,128	
2	令和5年度繰越金	102,969	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	241,097	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	6,000	費用弁償 2人分
4	需用費	181,947	印刷製本 9,340円（チラシ・証明書） 消耗品費 69,669円（替刃、軍手） 燃料費 5,320円(ガソリン・オイル) 食糧費 97,618円（茶19,372円 、弁当：78,246円147個）
5	役務費	8,150	保険料 6,800円 通信費1,350円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	45,000	草刈り機賃借料 43,000円 （1,000円×43台） 車両賃借 2,000円 （2,000円×1台）
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	241,097	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	親子でできる環境学習事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	30,539	
2	令和5年度繰越金	4,535	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	35,074	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	講師謝礼
3	旅費		
4	需用費	21,524	印刷製本費 11,560円（2500部） 食糧費7,138 円（お茶・茶菓） 消耗品費2,826円(苛性ソーダ・他)
5	役務費	2,550	傷害保険料
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	5,000	草刈り機賃借料（1,000円×5人）
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	35,074	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	大宮地区ウォーキング大会実施事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	67,388	
2	令和5年度繰越金		
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	67,388	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	55,488	印刷費 15,970円 消耗品 9,002円 食糧費 30,516円(弁当 17.496円 お茶 13,020円）
5	役務費	11,900	保険料
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	67,388	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	大宮地区夏休みのラジオ体操参加事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	15,929	
2	令和5年度繰越金	33,830	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	49,759	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	42,959	印刷製本費 6,450円 消耗品 36,509円
5	役務費	6,800	保険料
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	49,759	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	大宮地区大運動会実施事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	18,921	
2	令和5年度繰越金	107,068	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	125,989	

5

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	6,000	費用弁償
4	需用費	119,989	印刷製本代 23,090円 消耗品費96,899 円 (景品・火薬玉・鉢巻・他)
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	125,989	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	宮崎市地区対抗駅伝大会参加事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	76,653	
2	令和5年度繰越金	6,353	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	83,006	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	82,326	消耗品費 59,067円 食糧費 16,100円 印刷製本 7,159円
5	役務費	680	保険料 680円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	83,006	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	大宮地区グラウンドゴルフ大会実施事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	10,644	
2	令和5年度繰越金	44,730	
3	雑収入		
4	負担金	9,700	参加費（@100円×97人）
5	合計（A）	65,074	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	機材運搬・設営のお礼
3	旅費		
4	需用費	54,994	消耗品 42,497円 印刷製本費 4,020円 食糧費 8,477円
5	役務費	4,080	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	65,074	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	地域の歴史を継承する事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金		
2	令和5年度繰越金	35,142	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	35,142	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	6,000	費用弁償（2人分）
4	需用費	25,042	印刷製本代 16,410 円 食糧費8,632 円 (お茶 3,132 円茶菓 5,500円)
5	役務費	1,700	傷害保険料
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費	2,400	印紙代（道路占有許可）
13	積立金		
14	合計（B）	35,142	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	伝統芸能保存の活動支援事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	47,570	
2	令和5年度繰越金	12,430	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	60,000	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費	60,000	演舞披露&指導謝礼 30,000円「六月踊り」 指導：8名×2H×3回 30,000円「金閣寺踊り」 演舞披露：8名×2H×3回
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	60,000	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	遺跡の解説看板設置事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	114,642	
2	令和5年度繰越金	28,358	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	143,000	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費	143,000	看板設置 「従是北延岡領」
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	143,000	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	学校ボランティアへの支援事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	41,199	
2	令和5年度繰越金	20,211	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	61,410	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	6,000	費用弁償 2人分
4	需用費	55,410	食糧費 （お茶）
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	61,410	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	あいさつ運動推進事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	59,240	
2	令和5年度繰越金	160	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	59,400	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	59,400	あいさつ看板修繕（池内町麓）
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	59,400	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	「はたちの成人」に対するまちづくり啓発事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	262,440	
2	令和5年度繰越金	48,000	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	310,440	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	309,360	印刷費 309,000円 記念写真プリント・発送 消耗品 360円
5	役務費	1,080	郵送料 切手代
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	310,440	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	時間を守る運動の推進事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	12,545	
2	令和5年度繰越金	58,734	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	71,279	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	217	消耗品　取り付けネジ
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費	71,062	屋外用ソーラー時計購入
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	71,279	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	学校と地域のリーダー育成事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金		
2	令和5年度繰越金	12,070	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	12,070	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	12,070	お茶 4,920円 （大宮中・大宮小・池内小） ドーナツ 7,150円 （池内小30個・大宮中35個）
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	12,070	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり活動の広報事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	465,049	
2	令和5年度繰越金	30,815	
3	雑収入		
4	負担金		
5	合計（A）	495,864	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	459,364	印刷代　458,920円 （No.27　68,420円 8,500部） （No.28　390,500円 8,500部） 消耗品 444円（段ボール）
5	役務費	36,500	往復はがき・官製はがき
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	495,864	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	リーダー育成事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	551,952	
2	令和5年度繰越金	43,986	
3	雑収入		
4	負担金	276,000	自己負担金（@12,000×23人）
5	合計（A）	871,938	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	610,924	宿泊費250,700 円（10,900×23人） 日当101,200円 (2,200円×2日×23人) その他 259,024円
4	需用費	15,414	印刷費 7,376円(コピー・写真プリント代) 消耗品費 8,038円
5	役務費	6,900	保険 300円×23人
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	238,700	賃借料238,700円(バス借上)
8	原材料費		
9	備品購入費		
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	871,938	

収支差額（A）－（B）	0

事 業 別 収 支 計 算 書

大宮地域自治区
大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり事務局支援事業

（1） 収入の部 （単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	基礎交付金	746,531	
2	令和5年度繰越金	1,907	
3	雑収入	420	
4	負担金		
5	合計（A）	748,858	

（2） 支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	賃金	429,565	時間外手当
2	報償費		
3	旅費	12,000	費用弁償 4名分
4	需用費	130,254	印刷費 1,298 円写真プリント 消耗品費 128,956円
5	役務費	165,509	ボランティア保険 39,900 円 通信費 125,609円 （切手・はがき・インターネット代）
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	原材料費		
9	備品購入費	11,530	PCモニター 11,530円
10	工事請負費		
11	補償費		
12	公課費		
13	積立金		
14	合計（B）	748,858	

収支差額（A）－（B）	0

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和７年４月１日

宮崎市長　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地　宮崎市下北方町下郷６１０１番地
名　　称　大宮地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名　会長　池田　清治
電話番号　３１－３４３３

令和６年４月１日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において 1,328,406 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金	1,328,406 円
特例交付金	０円

添　付　書　類

令和６年度収支決算（見込）書

（様式第８号）

令和７年　３月２５日

令和６年度 大宮地域まちづくり推進委員会への意見書［事業実施報告］

大宮地域自治区地域協議会
会長　　小岩屋　敏

令和６年度の大宮地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

１　総括
事業計画に沿って適正な運営が図られていました。各部会とも積極的に各事業に取り組み、住民の参画や、地域の活動団体との連携なども努力されました。

２　事業の推進体制
特にありません。

３　各事業への意見（意見のある事業のみ記載）
特にありません。

４　その他
特にありません。